

産業常任委員会の記録

(ふるさと創生課)

招 集 年 月 日	令和4年3月9日（水）
招 集 の 場 所	松野町議会議場
開 会	3月14日（月） 午前10時54分
閉 会	同 上 午前11時51分
出 席 委 員	関本 豊、山下 智恵、村尾 重利、赤松 紀幸、加藤 康幸、 森岡 健治、近藤 由美子
欠 席 委 員	
付 議 事 件 説 明 の た め 出 席 した者の職氏名	町長 坂本 浩、副町長 八十島 温夫 課長 井上 靖、課長補佐 石田 和弘、課長補佐 藤本 和明 係長 兵頭 美和
職務のため出席 した者の職氏名	議会事務局長 大谷 吉廣
付 議 事 件	1 議案第20号 令和4年度松野町一般会計予算について ◎歳入 （該当分） ◎歳出 5款 労働費 7款 商工費

関 本 委 員 長	ただいまから、ふるさと創生課所管の付託案件の審査を行います。 議案第 2 0 号「令和 4 年度松野町一般会計予算」歳入該当分、歳出 5 款労働費、7 款商工費、ふるさと創生課所管分の審査を行います。 担当課長に説明を求めます。
井 上 課 長	それでは、令和 4 年度業務計画のうち、ふるさと創生課の産業常任委員会所管分について説明いたします。 別冊の令和 4 年度業務計画の 6 ページをお開きください。 ここでは、本委員会の所管となっている商工観光分野について、ご説明いたします。 ただ、ふるさと創生課において、商工観光分野と企画分野の業務は密接に関連しており、本委員会に該当しない部分についても、説明が若干触れることをあらかじめご承知おきください。 (業務計画説明) 続いて、議案第 2 0 号、令和 4 年度松野町一般会計予算のうち、ふるさと創生課分について説明いたします。 予算書の 7 8 ページをお開きください。 まず、5 款 1 項 1 目の労働諸費は、当面の実施事業はありませんが、科目存置として需用費 1 千円を計上しているものです。 続いて予算書 8 8 ページをお開きください。 7 款 1 項 1 目商工総務費は、1 6 , 0 9 7 千円の予算額で、前年度比 3 4 7 千円の減額計上となっております。 この内訳は、職員の人件費のほか、消費者行政相談窓口の開設にかかる経費です。 国の消費者行政の方針に沿って、国の資格を有する非常勤の相談員を定期的に配置しております。 消費生活相談員は、現在、鬼北町、愛南町と本町の 3 町で雇用しており、本町では週 1 日の勤務となっております。 予算書 8 9 ページをお開きください。 2 目商工振興費は、1 0 4 , 2 4 5 千円を計上しており、前年度比

	71, 773千円の増額計上となっております。 予算の内訳は、9節旅費に、ふるさとワーキングホリデーの普通旅費や費用弁償を計上しているほか、宮崎県日南市にある油津商店街に先進地視察の旅費を計上しています。 10節需用費には、コロナ対策の観光宿泊事業者応援事業に係るフライヤーの印刷代246千円を計上しております。 11節役務費には、コロナ対策の町内消費喚起対策事業として、森の国地域応援商品券配布事業の商品券送料や観光宿泊事業者応援事業に係るチラシの新聞折り込み手数料などを計上しております。 続いて、12節委託料には、森の国創業支援・物産振興キックオフ事業に委託料2,200千円を計上しているほか、コロナ対策の町内消費喚起対策事業として、森の国地域応援商品券配布事業のシステム構築委託料3,000千円を計上しております。 なお、森の国創業支援・物産振興キックオフ事業については、別冊資料にて説明いたします。 ～別冊資料にて説明～ 18節負担金補助及び交付金につきましては、商工会補助金として、町内消費喚起キャンペーン事業分を含む12,600千円、中小企業の制度資金の利子補給補助金に2,000千円、平成30年度豪雨災害被害対策分の融資を受けた企業に対する継続的な支援として被災中小企業者等復旧資金融資利子補給補助金276千円、都市部の若者が働きながら田舎暮らしを体験する、ふるさとワーキングホリデー事業の補助金1,234千円、地域づくり調査研究・インターンシップ応援事業補助金に500千円を計上しています。 ここで、ワーキングホリデー事業について別冊資料にて説明します。 ～別冊資料にて説明～ 予算書に戻ります。 令和4年度のコロナ対策として、町内で使用できる森の国松野町地
--	--

	域応援商品券配布事業補助金に４４，８４２千円、観光宿泊事業者応援事業補助金に２０，３４０千円、新型コロナウイルス感染症対策事業継続支援補助金として、９，０００千円を予算計上しております。 消費拡大、集客力の向上、事業継続の３つの方向から事業を展開し、経済復興を図り地域活性化につながるよう施策誘導してまいりたいと考えております。 詳細については、別冊資料にて説明申し上げます。 ～別冊資料にて説明～ 続いて、２３節には中小企業振興資金預託金６，０００千円を計上しております。 次に、予算書９０ページ、３目観光費は、予算額１２７，１３４千円で、前年度比１，７０６千円の減額計上となっております。 ここでは、地域おこし協力隊員３名分の予算が含まれており、１節報酬６，８５８千円、３節職員手当１，２００千円、４節共済費１，２４０千円のほか、８節旅費、１０節需用費、１３節使用料及び賃借料、１８節負担金、補助及び交付金へその必要経費が含まれています。 ７節では賞品費として報償費６０千円、８節は観光事業に要する旅費１８８千円、そのほか１０節需用費では消耗品費や修繕料、飼料費など７，６５０千円を計上しております。 １１節役務費には広告料や浄化槽関係費用、建物災害共済費用３，７３６千円などの必要予算を計上しております。 １２節委託料では、養魚場の運営に係る淡水魚畜養委託料２，２６０千円、大門温泉配管滅菌委託料１，３２０千円、国立公園清掃活動委託料４３０千円などを計上しているほか、滑床溪谷出会滑潜水橋の測量設計委託料５８４千円、ポッポ温泉修繕工事に係る設計監理委託料９３９千円などを計上しております。 施設の指定管理関係では、ＪＲ松丸駅の観光案内所指定管理料３，８００千円、河川公園施設指定管理料２６，０００千円、農業公園指定管理料７，０００千円、ふれあい交流館温浴部門指定管理料４，５
--	---

００千円、万年荘・滑床公共施設指定管理料６，０００千円が計上されております。

指定管理料の算定等については、別冊資料にて説明いたします。

～別冊資料にて説明～

そのほか、委託料では、町内各所や鬼北町などに設置している観光案内看板のリニューアル費用に委託料１，３５２千円、ＣＭ作成放送委託料に９３５千円、道の駅虹の森公園魅力化プロジェクト研修委託料６６０千円、おさかな館展示パネル作成委託料に２，０００千円を計上し、その財源として、寄付等を充当することとしております。

ここで、松野町の観光ＰＲに関する事業を別添資料により説明いたします。

～別冊資料にて説明～

１４節工事請負費については、森の国ぽっぽ温泉では、経年劣化による対応として、循環ポンプ等改修工事費に５，９３４千円、温泉地下タンク用ポンプの移設工事に２，２００千円、滑床溪谷関係では、万年荘やトイレなど関係施設の水道水の新たな水源確保に関する工事に２，３９８千円、出会滑の潜水歩道橋の工事に３，７７３千円、そのほか、道の駅虹の森公園まつの関係では、おさかな館の循環ポンプの修繕工事に１，４０３千円、多目的トイレの修繕及び新たに小児用便器を取り付け、多世代が安心して使えるみんなのトイレ工事に１，１００千円などを計上しております。

１７節備品購入費の主なものは、道の駅虹の森公園まつの広大な河川堰堤や広場の芝を管理する芝刈機２台に１，０４５千円、同じく、レストラン遊鶴羽にチップアイスディスペンサー付のウォーターサーバーを整備する費用に８３５千円、同じく森の国ガラス工房風音加工室にガス給湯器３８５千円を購入する予算を計上しております。

また、アフターコロナを見据え、インバウンドやアウトドア活動による集客力向上を見据え、アウトドア聖地化プロジェクトを加速させるため、クライミングボードの購入８，１０５千円を計上しております。

す。

このクライミングボード購入については、別冊資料にて説明いたします。

～別冊資料にて説明～

18節では、各種協議会負担金や事業補助金を計上しております。その主な内訳は、旅南予協議会負担金が911千円、定住自立圏構想による児童魅力発信事業負担金100千円、予土県境地域連携実行委員会事業負担金500千円、夏のイベント「滑床まつり」の開催費補助金1,400千円、森の国戦国武者伝走や予土うまいもの合戦などを実施するための森の国戦国絵巻のまちづくりプロジェクト補助金2,000千円、地域資源を生かした観光振興事業を対象とした森の国観光交流促進プログラム事業補助金1,250千円、グリーンツーリズム事業の創業や環境整備を支援するグリーンツーリズムキックオフ補助金1,000千円、松野町及び四万十地域の地域資源を活かしたマウンテンバイクの大会を開催するための松野四万十バイクレース開催補助金2,400千円、松野滑床サイクリング開催費補助金395千円などを計上しています。

続いて、えひめ南予きずな博実行委員会事業費につきましては、3,709千円を計上しております。

詳しい内容につきましては、別冊資料にて説明いたします。

～別冊資料にて説明～

以上、ふるさと創生課関係分の歳出の説明を終わりたいと思います。

なお、歳入につきましては先ほどらいご説明をさせていただきましたとおり、各事業実施するにあたりまして有利な財源をなるべく獲得できるようこちらのほうにも力を尽くしてまいりたいと思いますのでよろしくご理解賜りますようお願い申し上げます。

以上が議案第20号、令和4年度松野町一般会計予算、ふるさと創生課分の説明です。

関 本 委 員 長	よろしくご審議を賜りご承認いただくようお願いいたします。 担当課長の説明が終わりました。 委員からの質問を許します。
加 藤 委 員	ちょっと1点だけお聞きしたいんですけど、ふるさとワーキングホリデー事業についてやけど、この事業、確かにですね、都市圏から、滞在して働く場を求めると。収入を得ながら、これに対して、今のうちはコロナ禍で、あれなんですけど、見通しというかね、そういうのをちょっと1年にわたっての見通しというか、ある程度は、推察されとると思うんですけどね、その件だけちょっと、お聞きしたらと思います。
井 上 課 長	このふるさとワーキングホリデー制度につきましては、この事業だけで、単体で、松野町の定住人口を増やしていったりとか、松野町の魅力を発信するものではございませんが、1つの手段として、御理解いただいたらと思うんですが、このふるさとワーキングホリデーの実施時期について、夏時期を実は予定をしております、その時期に、どうしても大学生とか社会人の方が、長期の休みが取れる時期を狙ってですね、松野町に来ていただくというのがまず1点です。 で、受け手側の松野町としましては、その時期に雇用がどうしても必要な業界、いわゆる観光事業主の皆様方にですね、受入れてみませんかというようなですね、オファーを出しまして、そこをマッチングしてやっていきます。 これまで実績も着実に上っております、年間数名程度でございますが、こちらの事業を利用して、松野町で1ヶ月とか2ヶ月滞在してもらって、経験して、また都市部に帰っていくことをやっております。 中でも、その中でふるさとワーキングホリデーで、松野町の魅力に触れて、就職を決めて、定住をしたという実績も上がっております。 そのほかですね、これは行政だけがやっているわけではなく、町内の事業者様でも、こういった制度、ふるさとワーキングホリデーとい

	う名前ではございませんが、インターンシップとかですね、そういったものをたくさんやっていただいて、松野町に、学生とか若い方とか来ていただいて、松野町の魅力に触れながら仕事をして、それで定住につながるっていうことも、ちよくちよくと出てきているような状況を見受けられます。 このふるさとワーキングホリデー事業につきましてはそういった見通しでですね、今年もできれば数名の方、松野町に来ていただいて松野町で働きながら、松野町の魅力に触れてもらうってというような活動をして、ゆくゆくは定住につなげていきたいという考えを持っておりますので、ぜひとも、その折には、来た他地域の住民の方に対して温かい御配慮をお願い出来たらと思っております。 以上です。
加 藤 委 員	今課長から説明ありましたが、見通しというのは今からのことで、ある程度の今の段階では、希望者というかそういうのは何人か、そこらきてるわけですね。
井 上 課 長	予算成立後にですね、実はリクルート、求人活動していきます。 なので、今のところまだ白紙です。 ただ、予算成立後には、新年度に入ったらすぐに募集活動に移って、しっかりと獲得して参りたいと思っております。 以上です。
加 藤 委 員	分りました。 どっちにしたってこれ松野町がね、受皿になって主体はこれキャニオニング事業所を対象と、それ以外のなやつもある程度含まれる要素はあるということですか。 キャニオニング事業者を本事業、対象者と書いてありますもんで、キャニオニング事業者だけのことか、ほかに含みを持って、ほかの面もあるのか、最後にそれだけちょっと。
井 上 課 長	メインの仕事としましては、キャニオニング事業者、松野町内2社あるんですが、こちらのほうを対象としております。

近 藤 委 員	その中で、仕事する中で、いろいろとほかのこともやってみたいということがあれば、その辺も柔軟に対応していきたいと思っております。 今ものすごくホルダリングは、流行っていると思うんですけど、すごい集客はすごい、広報活動によるんですけど、ものすごく広報活動をするようになってから、多分、大分集まってくるんじゃないかと思います。 そのような時に、宿泊を皆、松野南小の旧庁舎を活用したゲストハウスとかいろいろ書かれているんですけど、そういうことは、間に合うんでしょうか。
井 上 課 長	全国に70万人ほどボルダリングの愛好家がいると聞いております。 ただ、70万人ぐらいしかいないのかっていうことも考えられるんですが、松野町の観光とか、交流産業やっていく上で、何千万人も1年間に呼ぶようなマスツーリズムはやっていきたくないと思っております。 しっかりと松野町の地域資源を理解していただいた方を、コアなファンになっていただくよう、しっかりとピンポイントで誘客をしていくという考えを持っております。 その中でこのボルダリングっていうのは、滑床にある自然の石とか、それを登る競技でございまして、しっかりと70万のコアなファンが全国にはいるというところで、長く、少ない人数ですが長く、コアなファンを捕まえていきたいと思います。 その自然石プラス、今回購入を予定しております木ルターボードっていうのを導入して、内も外もできるような体制が整うんですが、これによりまして集客を図って参りたいと思いますし、もう1つは、町内の小学生、特にゴールデンエイジと呼ばれる年齢層ですね、低学年の子どもたちを指すんですが、しっかりと体幹を身につける、養成する時代に、ぜひともいろいろ体験をさせていきたいなと思っております。

近 藤 委 員	す。 外から来るお客様だけではなく町内の子どもたちにも、しっかりと、このボルダリング体験をさせてあげたいなと思っております。 ひいてはそれで体幹が強くなって、各種スポーツにも役立つものと思っております。 そこで来たお客様が、どちらに宿泊するのかっていうことも考えてまいりたいと思います。 まだまだ松野南小学校では、住民の皆さんで合意形成をしていきたいと思っております、その中で、ゲストハウスっていうのは1つの選択肢には皆さん出ております。 ゆくゆくは、そちらのほうの整備の方法も考えていきたいと思えます。 現在のところは、町内にある宿泊施設、滑床の宿泊施設だったり、松丸地区にある旅館、そし、町内に11件ほどあります農家民宿、こちらのほうをしっかりとですね、御案内をしていきたいなと思っております。 で、これも事業、関連するんですが、こういったところを一手に引受けて、案内ができるような仕組み、そういったものをつくりたいというのが、総務委員会でも申し上げましたが、DMOという組織でございます。 この辺りをですね、しっかりとパッケージが出来て、お客様が分かりやすく、宿泊出来たり、御飯が食べたり、いろいろな体験活動できるような、そういった仕組みを、これから1年、2年、3年とかけてしっかり作っていききたいなと思っているところでございます。 以上です。 私はぽっぽ温泉でよく県外の方にも、来てくださった人にもすぐ声かけるんですけど、分りますから大体、それで、ほとんどの人が、「宇和島に泊まってきてるんよ。」っていう人が多いんですよね、すごく。その辺りのことをどう考えてるのかと、ボルダリングですか、それは
----------------	--

井 上 課 長	西条でもちょっと早めに始めとると思うんですけど、そういうところはまた、見に行かれたんですかね、それについて、お答えいただけたらと思います。 私自身は、西条にあるクライミングパークと言いましたっけ、ボルダリングと、あと、もっと高いスピード競技とかやるとこは、見に行っております。 で、宇和島の総合体育館にもあります。 で、松野町の強みは、今その指導のできる人間がいるというところでございます。 元宮城県の国体代表の監督をしたりとか、今、県内でも、松野町に居ながらいろいろその自分のスキルアップを努めて指導ができるようなことができる人材が、松野町にいるというのも強みの1つでございますので、是非取り組みたいと思います。
近 藤 委 員	是非取り組んでいただいて、松野町がより多く活性できるような形にしてもらったらうれしいかなと思っています。 よろしくお願いします。
山 下 委 員	まず、松野町新型コロナウイルス感染症対策事業継続支援補助金についてです。 これはほかの補助金を受けた事業者に対しても、出る補助金なのかどうかということが、1点。 あと、ちょっとこれはお願いなんですけれども、松野町地域応援商品券の発行事業について、この商品券1冊について、ぽっぽ温泉の無料入浴券3枚をつけていただくということなんです、これにつけ加えて、できればおさかな館の無料入場券も、つけていただけたらなというのが、なかなかその松野町の在住してる町民の方々、いつも見慣れたる魚とかしか、展示してないんじゃないかっていうふうな、そういった誤解があって、1回も行ったことないよって言われる方多数いらっしゃると思います。 行ってみると分かるんですけども、定期的に展示する魚たちも変

井 上 課 長 森 岡 委 員	わってますし、また珍しい生き物なんかも展示してますので、そういったところにもぜひ利用していただきたいな、今後の利用の拡大が図られるのではないかと考えてますので、ぜひとも、その点をお願いしたいなと思っております。 まず1点目の事業継続補助金なんですが、これは松野町の単独事業でやる予定にしておりますので、ぜひとも該当される方は、応募して、申請をしてもらったと思っております。 次に、地域応援商品券と合わせてつける温泉券なんですが、これは、やはり松野町内の方に、松野町の資源、これは資源です。資源である温泉をですね、ぜひとも一度体験していただいて、今後も継続して入浴していただけますように、な思いを込めて、今回、つけさせていただくものでございます。 あわせて、もう1つ、これも川の資源を表現したおさかな館、こちらにつきましては、現在、企業版ふるさと納税で、カワウソ舎もリニューアル中でございます。 それが完成して終わりましたら、ぜひともこちらも町内の皆様にはですね、体感していただきたいと思いますので、今後、株式会社まちづくり松野、これは指定管理者でございますが、こちらと相談の上、町内の住民の方は、無料で入場できるような方法を検討させていただいたらと思っております。 いずれもですね、松野町の住民の皆様が、松野町の資源である、資源の1つであるぽっぽ温泉、そしておさかな館に、ぜひ訪れていただきまして、そのよさを感じていただいて、広く、町外の皆様とかに広めていただきたいなと思っておりますので、券が届いたり、入館無料の期間が来ましたら、ぜひとも御利用いただければ、ありがたいなと思っております。 ぜひともよろしくお願いします。 総体的に質問させていただきますが、いろいろこう補助事業、各種手厚い補助事業がありますが、中でもやはり、現状の今の松野町の商
-------------------------------	---

坂 本 町 長	工業者、商店街の活性化、これはどうしても、衰退さすわけにはいかない。 これについてまたキックオフ補助金ですかね、など、出てますが、やはりここ全般的に言えるわけです。 担い手不足、その辺もかかわりますし、行政だけが進めてもこれもまた難しい、やり手の、問題が出てきます。 いかにそこに手厚い補助的なものをして、あげるのが行政であって、やはりどうやったら収益が上がるか、またその辺の導きをしてあげる手伝いをしてあげるのが、行政じゃないかなと思いますんで、いろいろこう業務計画の中にも書いていますが、この言葉だけじゃなくって、実践になるように、また高齢化が進み、事業継承がなかなか難しくなってることもあります。その辺も、検討していただきたいなど。 ちょっと全般的なことですので、どうしてももうこの機会を、コロナで衰退してるところを脱却しないといけないんで、その辺含めて意気込みだけ言うていただいて、それをどう今年度から、ここ1、2年で取り組んでいくんだという、方針だけ聞かせていただいたらと思います。 全般的な御質問でございますので、私のほうから回答させていただきますが、先ほど農林課のほうで担い手が農業の非常に厳しい、林業も厳しいという話もしましたが、商工業も私は同様だと思っております。 その中で、私が1番この商工業で目指していきたいのは、循環型の経済モデル、なるべく地元でお金を使ってもらう、そのためには、当然この地元で店舗を確保しなければいけませんし、継続もしていかなければならない。 非常に難しい問題なんですけれども、ここに焦点を当てて商工業の活性化努めていきたいというふうに思っております。 そのためには、今ほど委員の御指摘がありましたように、町だけで、これはできるものではありません。
----------------	--

	企画分野で町なかの活性化、小さな拠点づくりということで、伊予銀行の支店跡、社宅跡を活用したまちづくりのことについて触れさせていただきましたが、またそれ以外にもですね、御承知のとおり、ガソリンスタンドの跡、あるいは、農協の旧建物、あるいは先日、町のほうで購入しました広見スーパーの跡、これらも含めましてですね、何とかこの民間の力をお借りしながら、そこに拠点を増やしていく、皆さんの利便性を上げるものを誘致をしたい、これをまず1つやり遂げていきたいというふうに思っております。 さらに、担い手対策ですね、これにつきましても、農林のほうはどうしても国の制度上、かなり手厚い、農業従事者に対する支援があるんですが、私は商工業のほうもそういったものがあって、いいんじゃないかなというふうに思っております。 そういった働きかけをですね、これからもしていくと同時に町単でできることがあれば、単独でもそういった支援策をこれから検討していきたいというふうに思っております。 何分にも高齢化、そして人口減少、これが1番の松野町の課題だというふうに思っておりますので、それに歯止めをかける施策を、議会の皆さんの御指導、御提言を生かしながら、進めて総合的に進めていく、それをここで発表させていただきたいと思います。 以上です。
森岡委員	町長答弁ありがとうございます。 どうぞ商工が、松野町のため、町民のため、商工街の発展のために、どうぞ、努力していただけるように、要請をしておきます。 以上です。
関本委員長	他にありませんか。 質問が無いようであれば、採決に移ります。ただいま審査しております、議案第20号について、原案のとおり御承認いただけますか。 (異議なしの声)
関本委員長	賛成多数です。

したがって、当委員会は、議案第20号「令和4年度松野町一般会計予算」歳入該当分、歳出5款労働費、7款商工費、ふるさと創生課所管分については原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和4年5月19日

松野町議会産業常任委員会委員長 関本 豊